利賀っ子だより

R５．３．２４

○　山村留学生を送る会

３人の山村留学生が地元に戻ることを決め、本日、全校でお別れ会をしました。「留学生が来てくれるということは、必ず、こんなお別れの日が来ることは、分かっているけれども、いざその日になるとまだまだ一緒に過ごしたかったなという気持ちがある。今、私たちができることは、送り出す側、送られる側それぞれが互いのことを思って準備した気持ちを大切にすること、今日の思い出を心にしまっておくこと」と話をしました。

【温かい雰囲気に包まれました】

親元を離れて暮らす、それは、きっと、私の想像できない、言葉では言い表せない苦労や寂しさがあったと思います。

でも、利賀でしかできない体験をたくさん積んできたこと、ホームステイ先の温かいご家族のみなさんと触れ合ったこと、地域の方々からたくさんの知恵や技を学んだこと、そして、センターの大家族の中で、みんなで力と心を合わせて活動してきたことなど、中身の濃い充実した体験を重ねて成長した３人の今の顔は、自信とたくましさにあふれていました。

利賀の子供たちも新しい人間関係ができて今までと違う見方や考え方を知ったり、日本各地の情報を知ることができたりと大きく成長しました。

○　令和４年度が修了しました

【代表児童の発表】

本日で令和４年度の教育活動が終わりました。

修了式で子供たちに、今年１年間の「挑戦」はどうだったか振り返ってほしいと話しました。「あきらめない」「続ける」と互いに声かけ合いながら取り組んだ結果がどうだったのか振り返ることが次の挑戦につながると考えるからです。

子供たちが安心して挑戦できるよう、保護者の皆様、地域の皆様には、多大なご支援、ご理解をいただきましたことに感謝申し上げます。今後も、保護者や地域の皆様に子供たちの成長を実感していただけるように子供たちと教職員が一緒に挑戦し続けたいと考えています。ありがとうございました。

（高田　公美）